

桑名三重信用金庫の環境への取組みについて

当金庫は、環境問題への積極的な取組みを地域金融機関の社会的責任と位置づけ、「環境方針」を制定し、様々なかたちで環境問題に取り組んでいます。

なお、本取組みは、SDGs の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に通じています。

【電気・ガソリン使用量削減】

環境問題への取組みの一環として、日常使用する電気とガソリンの使用量の削減に努めています。電気についてはエアコンの設定温度を遵守するとともに、長時間使用しない時は照明のほか、各種機器類の電源を切るなどして使用電力量の削減に努めています。また、ガソリンについては、ハイブリッド車の導入、車両運転時の急発進抑制・効率的な経路の選択などにより、燃料消費量の削減に努めています。

【クールビズ・ウォームビズの実施】

温室効果ガスによる地球温暖化防止活動の一環として、夏季期間（5月～10月）はオフィスのエアコンの設定温度を原則 28℃に設定し、服装を軽装化しています。また、冬季期間（11月～3月）は 20℃に設定し、暖房に頼り過ぎない働きやすい暖かい服装で業務を行っています。

【LED 照明器具の導入】

省資源・省エネルギー対策の一環として、LED 照明器具の導入を計画的に進めています。令和 3 年度は、本店ビルの 2 階の一部、徳和・南郊支店に導入。令和 4 年度においても、本店ビル・駅前ビル・松阪支店ビルの各一部、中南勢地区 7 店舗の LED 化を計画しています。

【エコキャップ運動の実施】

CO₂ の削減及び世界の子供たちにワクチンを寄贈するため、平成 25 年 6 月よりペットボトルキャップのリサイクル運動を実施しています。令和 4 年 3 月末現在、CO₂ 削減量 4,557kg、ポリオワクチン 720 人分に寄与する累計 619,950 個のエコキャップを提供しています。

【定期預金証書袋の紙製化】

環境省の「プラスチック・スマート」にも対応する取組みとして、ビニール製の定期預金・定期積金の証書袋をすべて紙製に切替えました。三重県下 3 信金（当金庫・北伊勢上野信用金庫・紀北信用金庫）による共同の取組みです。